KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

M1GB5 / M512B5

取扱説明書 保証書付 →68

お買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。
この取扱説明書は2機種を共用しておりますので、一部フィーチャー（機能）の異なるものがあります。

製品に関する一般的なご質問を弊社 FAQ Webページにて、情報を提供しています。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。 ＜http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html＞

株式会社 ケンウッド

〒**192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3**

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは､カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  電話 ：（0570）010-114（ナビダイヤル）　携帯･PHSでのご利用は（045）933-5133
  FAX ：（045）933-5553　**住所：**〒226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、「**ケンウッドサービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。 →62

B60-5627-08 00 (J) AP 0508

準備編

基本編

応用編

知識編

安全上のご注意

⚠ :本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。
この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



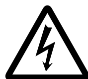
警告: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

次ページに続く

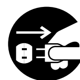
絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

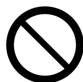
お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

次ページに続く

⚠ 警　告



機器の内部に水や異物を入れない

機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となります。



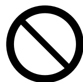
機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。



乾電池は充電しない

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。

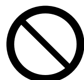
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

次ページに続く

⚠ 警　告



落としたら電池を取り出す
機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、機器の電源スイッチを切り、電池を取り出して、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。



運転中はヘッドホンを使用しない
自転車に乗りながら、または自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない。また、歩行中にこの機器を使用する場合、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。
交通事故の原因となります。

次ページに続く

⚠注 意



電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"−"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。
- 電池および外部乾電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。

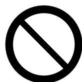
次ページに続く

⚠注 意



湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気のあたる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

次ページに続く

⚠ 注 意



長期間使用しないときは電池を取り出す

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電池を取り出しておく。火災の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。



耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。



お手入れの際は電池を抜く

お手入れの際は、電池を取り出す。
感電の原因となることがあります。



定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

次ページに続く

応　用　編

知　識　編

はじめに

プレーヤーの特長

- ポータブル用途に適した軽量、コンパクト、耐ショック性
- MP3、WMA（DRM 対応）再生
- ダイレクトエンコーディング機能：パソコンなしでの録音が可能
- FM チューナー内蔵（録音機能付き）
- 内蔵マイクロホンによるボイスレコーディング機能
- USB フラッシュメモリー：ドラッグ＆ドロップで各種データの保存が可能
- USB2.0 インターフェースによるデータ高速転送
- 高音質ヘッドホン
- デジタルオーディオリンク機能：当社の対応マイクロコンポと接続して、コンポのリモコンで再生/録音のコントロールが可能

本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトウェアの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
本製品およびパソコンの不具合によりデータが破損または消去された場合のデータ内容の保障はご容赦ください。

付属品

次の付属品がそろっていることをご確認ください。

CD-ROM（1）　USB ケーブル（1）
ヘッドホン（1）　単4形アルカリ乾電池（LR03）（1）
ネックストラップ（1）録音ケーブル（1）

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

プレーヤーの製造年表示は電池ボックスの内側にあります。電池カバーを開けると表示を見ることができます。

次ページに続く

必要なシステム

- Microsoft® Windows® XP/2000/Millennium (Me)
- Intel® Pentium® II 350 MHz 以上を搭載するPC/AT互換機
- CD-ROM ドライブ
- USB 1.1/2.0 規格に準拠した USB ポート (USB 2.0 を推奨)
- 物理メモリ 64 MB (128 MB 以上 を推奨)
- ハードディスク空き容量 30 MB (MP3 または WMA 形式の音楽ファイルの保存にはさらに多くの容量が必要です)

POINT:

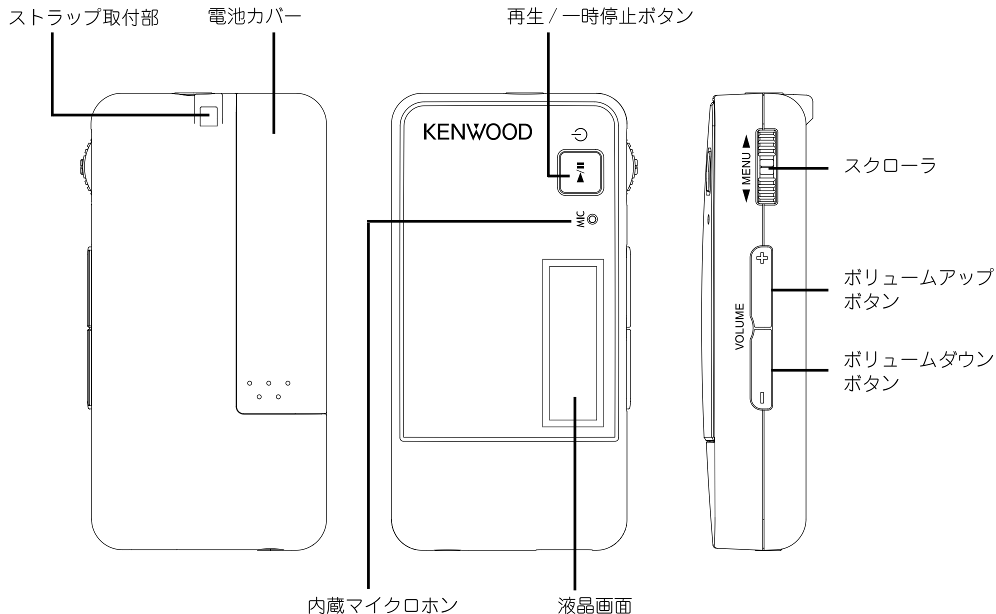
- 上記に適合する全ての環境について動作保証するものではありません。
- OSをアップグレードしたパソコン、または自作パソコンでの動作保証はいたしません。
- 音楽CD から録音（リッピング）するには、別途リッピングソフトウェア（Windows Media Player など）が必要です。

本書の内容は、予告なく変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは使用許諾契約書の規定に従います。
同契約書の規定による許可無くこのソフトウェアを複写することは、法律に違反しますのでご注意ください。使用許諾契約受諾者は、バックアップ用としてのみ1 点に限りこのソフトウェアの複写を作成することができます。
ソフトウェア使用許諾契約書は、インストール CD 上の別のフォルダに収録されています。

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国々における商標です。
その他の製品名や社名、ロゴマークは該当する各社の登録商標、または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各部のなまえと働き



次ページに続く

各部のなまえと働き（つづき）

再生/一時停止ボタン ►/II ⏻

- 電源をオン/オフします（電源がオンまたはオフになるまで押し続けます）
- 録音を開始または停止します
- 再生を開始、一時停止または再開します
- プレーヤーが［**FM ラジオ**］モードのときは、オート選局とマニュアル選局を切り換えます

内蔵マイクロホン MIC

- 内蔵マイクロホンを使用して音声をデジタル録音できます

ボリュームダウンボタン VOLU −

- 音量を下げます(押し続けると音量が徐々に下がります)

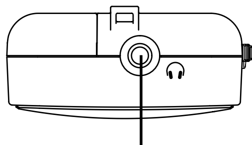
ボリュームアップボタン LUME ＋

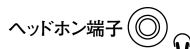
- 音量を上げます(押し続けると音量が徐々に上がります)

スクローラ ◄ MENU ►

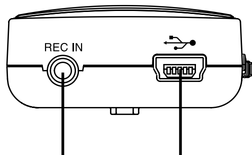
- 前後の音楽ファイルまたは録音ファイルに進みます（再生中にスクローラを回転させて離すと、前後のファイルに進みます）
- 再生中の音楽ファイルまたは録音ファイルを、早送りまたは早戻しします（再生中にスクローラを回転させ、回転した方向に押し続けると、そのファイル内の前後の部分に移動します）
- メニューをスクロールします
- メニューオプションを選択します
  スクローラを回転させてメニューオプションをスクロールし、スクローラを押してオプションを選択します。この動作は「**スクロールセレクト**」と呼びます
  ✍「**スクローラの使用**」 → 20
- FM ラジオを選局またはスキャンします

次ページに続く





- ヘッドホンを接続します。





- CDやMDなどの外部機器をプレーヤーに接続し、入力した音声信号を録音することができます。

✍「**ダイレクトエンコーディング**」 → 27



- 付属のUSB ケーブルを使ってパソコンに接続します。

✍「**音楽ファイルの転送**」 → 22

✍「**Kenwood Media Explorer の操作**」 → 49

簡単なお手入れ：

プレーヤーの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、布に少し水を含ませてください。そのあと必ず乾いた布でからぶきしてください。

POINT:

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は使わないでください。変質、変色のおそれがあります。
- 油をささないでください。故障の原因になります。

Kenwood Media Explorer のインストール

Kenwood Media Explorer および KENWOOD M_B5 Drivers をインストールします。インストールするときは、お手持ちのパソコンの動作環境を確認してください。

✍「**必要なシステム**」 → 12

- **Kenwood Media Explorer**にはリッピング機能（音楽CDからの録音）はありません。

ソフトウェアをインストールするには、Windows XP および 2000 では Administrator または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
詳細については、お使いのオペレーティングシステムのオンラインヘルプを参照してください。

1 プレーヤーがパソコンにUSBケーブルで接続されていないことを確認してください。

2 インストールCD を CD-ROM ドライブに挿入します。

インストーラは自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、以下の手順に従います。

① ［**スタート**］➡［**マイ コンピュータ**］アイコンをクリックします。

② CD-ROM/DVD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［**自動再生**］をクリックします。

3 インストーラ画面に表示される指示に従って操作します。

インストーラ画面は以下のように切り換わります：

① インストーラの初期画面で［**次へ**］をクリックします。

② 言語選択画面で［**日本語**］を選び、［**次へ**］をクリックします。

③ ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよく読み､同意のうえ［**はい**］をクリックします。

④ **Kenwood Media Explorer** のインストール先を確認し［**次へ**］をクリックします。

⑤ ショートカットアイコンの登録画面で、ショートカットアイコンをデスクトップに登録するときは［**はい**］をクリックします。

⑥ イントールが完了したことをお知らせする画面が表示されます。そのまま［**次へ**］をクリックします。

次ページに続く

Kenwood Media Explorer のインストール（つづき）

4 再起動を求める画面が表示されたら「完了」をクリックし、パソコンを再起動します。

インストールが完了すると、Windowsエクスプローラに［**Kenwood Media Explorer**］フォルダが追加されます。

POINT:

- プレーヤーで音楽ファイルを再生したい場合は、必ず **Kenwood Media Explorer** を使って音楽ファイルを転送してください。 ✍「**音楽ファイルの転送**」 → 22
- Windowsからリムーバブルメディアとして認識されているプレーヤー（［**リムーバブルディスク（E：）**］など）に、Windows エクスプローラを使って転送した音楽ファイルは、プレーヤーで再生することはできません。リムーバブルメディアとして各種データをプレーヤーに転送することはできます。
- 録音した音楽ファイルや録音ファイルをプレーヤーからパソコンに転送したり、パソコンで音楽ファイルを編集することができます。
✍「**Kenwood Media Explorer の操作**」 → 49

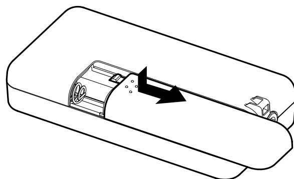
電池の取り付け



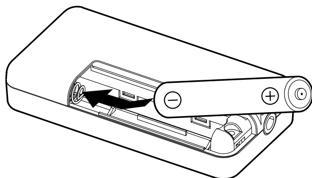
警告 電池のアルカリ液が目、皮膚に付着したときは失明やけがのおそれがありますので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

※付属のアルカリ乾電池は、動作チェック用のため寿命が短いことがあります。ご了承ください。

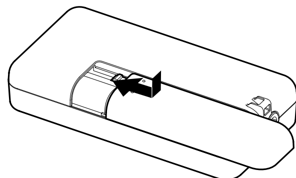
1 電池カバーを取り外します。



2 電池を取り付けます。



3 電池カバーを取り付けます。





注意

電池を取り付けるときは必ず⊖極側から取り付けてください。無理に取り付けると、電池の被膜が破れ、ショートし、破裂、液漏れ、やけどの原因となることがあります。

プレーヤーの電源をオン/オフする

プレーヤーの電源を入れる：

[KENWOOD]のロゴが液晶画面に表示されるまで、[再生/一時停止] ►/II ⏻ ボタンを数秒押し続けます。

前に電源を切ったときと同じモードで、プレーヤーの電源がオンになります。

プレーヤーの電源をオンにすると、あらかじめ収録しているサンプル音楽ファイルの再生を自動的に開始します。

- 再生がはじまらないときは、[**再生/一時停止**] ►/II ⏻ ボタンを押します。

プレーヤーの電源を切る：

[power off]のメッセージが液晶画面から消えるまで、[再生/一時停止] ►/II ⏻ ボタン を数秒押し続けます。

電池残量の表示

電池の残量が少なくなると電池残量表示は、■■■ ➡ ■■ ➡ ■ と変わります。

電池残量が少なくなったときは、早めに電池を交換してください。

POINT:

- 連続再生時間は再生時の音量のほかに、様々な要因により変化します。

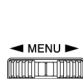
✍「**使用方法**」 → 60

スクロ－ラの使用

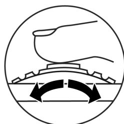
スクロールセレクト

プレーヤーを操作するうえで、スクローラは最も重要な機能の一つです。この取扱説明書で、「スクロールセレクト」という指示があったときは、スクローラを回して項目間を移動し、スクローラを押してその項目を決定することを意味します。

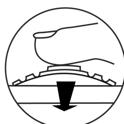
基本編



スクローラ（上面図）



スクローラを回転してオプションをスクロールします



スクローラを押してオプションを選択します

表示されている画面に応じて、選択できるメニューは異なります。

POINT:

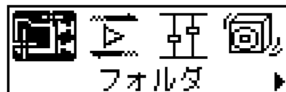
- スクロールセレクトするには、スクローラを回して項目を選び、スクローラを押して決定します。

メニューオプションの選択

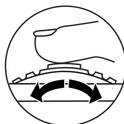
スクローラを使用してメニュー項目を選択できます。

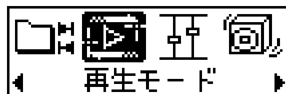
1 スクローラを押します。

メインメニュー画面を表示します。



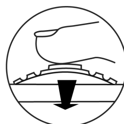
2 スクローラを ◄（左）または ►（右）に回転させ 、メインメニューをスクロールします。

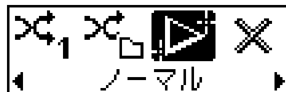




メニュー項目を選択できます

3 スクローラを押してオプションを選択します。





メニューオプション表示されます

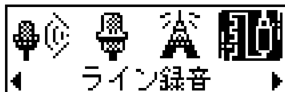
プレーヤーの機能を切り換える

使用する目的に合わせて［ライン録音］、［ミュージック］、［FM ラジオ］、［マイク録音］または［録音ファイル］などのモードにプレーヤーの機能を切り換えてください。

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。
2 プレーヤーのモードをスクロールセレクトします。

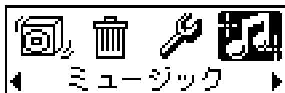
［ライン録音］モード →27

プレーヤーで音楽CDやMDを録音するときは［ライン録音］を選びます。



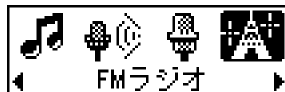
［ミュージック］モード →30

［ライン録音］モードで録音した音楽ファイルや、Kenwood Media Explorer（メディア エクスプローラ）でパソコンから転送した音楽ファイルを再生するときは［ミュージック］を選びます。



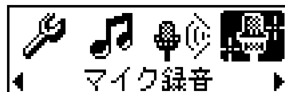
［FM ラジオ］モード →33 →36

FM ラジオを受信したり、FM ラジオ番組を録音するときは［FM ラジオ］を選びます。



［マイク録音］モード →37

内蔵マイクロホンから録音するときは［マイク録音］を選びます。



［録音ファイル］モード →37 →38

FM ラジオ番組や内蔵マイクロホンから録音した録音ファイルを再生するときは［録音ファイル］を選びます。



音楽ファイルの転送

プレーヤーに音楽ファイルを転送する前に、音楽 CD から音楽トラックをリッピングしてパソコンに取り込んでください。
Kenwood Media Explorer にはリッピング機能（音楽 CD からの録音）はありません。

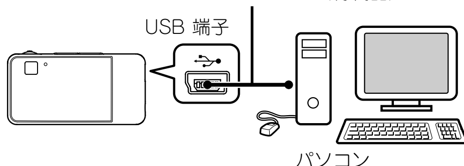
> **音楽ファイルを転送するには、Windows XP および 2000 では Administrator または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。**

1 お手持ちのリッピング･エンコーダソフトウェアで音楽CDからMP3またはWMA形式の音楽ファイルを作成します。

- お手持ちのリッピング･エンコーダソフトウェアの取扱説明書や弊社のFAQ Web サイトをご覧ください。

2 プレーヤーのUSB端子に、USB ケーブル（付属品）でパソコンと接続します。

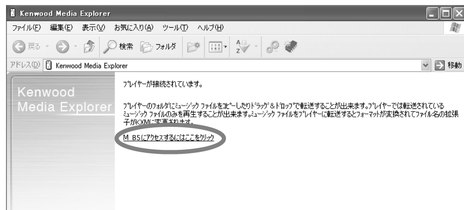
- **Kenwood Media Explorer** が自動的に起動します。



- 自動で起動しないときは、［**スタート**］➡［**マイ コンピュータ**］➡［**Kenwood Media Explorer**］をクリックします。（デスクトップにショートカットアイコンを作成した場合は、［**Kenwood Media Explorer**］アイコンをクリックしても操作できます。）
- パソコンに接続しているときには､プレーヤーのボタンは押さないでください。
- Windows XP のときはリムーバブルディスクのウィンドウ（［**リムーバブルディスク（E:)**］など）を表示しますが、このウィンドウは閉じてください。

3 ［M_B5 にアクセスするにはここをクリック］をクリックします。

［**M_B5**］フォルダが開きます。

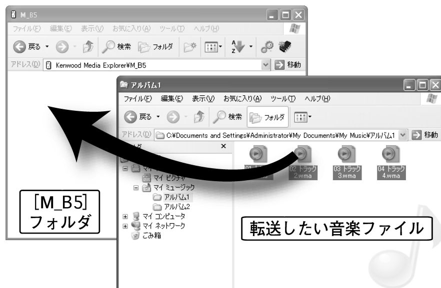


※ Windows XP での表示画面です。お使いのパソコンの環境によって表示が異なる場合があります。

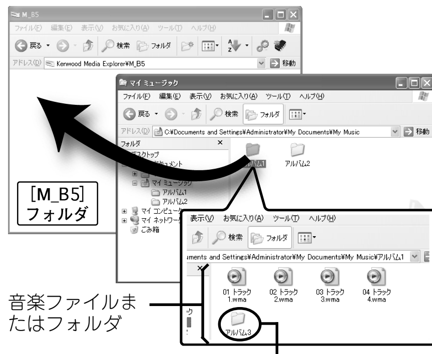
次ページに続く

4 Kenwood Media Explorerの［M_B5］画面上に、転送したい音楽ファイルまたはフォルダをドラッグ＆ドロップします。

【音楽ファイルを転送する】



【フォルダごと転送する】



フォルダの中は音楽ファイルのみ

転送可能なフォルダは 2 階層までです

POINT:

- MP3またはWMA形式の音楽ファイルは、プレーヤーで再生可能な形式に変換され転送されます。このとき音楽ファイルの拡張子は "**.KXM**" になります。（このファイル形式では、パソコン上で再生することはできません）
- 転送した音楽ファイルは、オリジナルファイルと比べて容量が若干大きくなります。
- オリジナルファイルのタグ情報内のタイトル部のみプレーヤーで表示できます。

次ページに続く

5 KXM形式への変換についてのダイアログボックスが表示されたら、[OK］をクリックします。

MP3やWMA形式の音楽ファイルがKXM形式に変換されて、プレーヤーに転送されます。



① **音楽ファイルが転送されたら、KXM形式に変換されていることを確認し、**

② **[Kenwood Media Explorer］を閉じます。**



次ページに続く

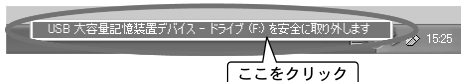
6 **①タスクバーの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックし、**
②［USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します］をクリックします。

安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーをパソコンから取り外します。

①



②



7 **［KENWOOD ］のロゴが液晶画面に表示されるまで、►/❚❚ ボタンを数秒押し続けます。**
プレーヤーの電源をオンにすると、再生を自動的に開始します。

- 再生がはじまらないときは、►/❚❚ ボタンを押します。

POINT:

- 転送した音楽ファイルは、文字コード順に再生されます。
- 転送した音楽ファイルが壊れているなどの理由で、プレーヤーで再生ができない場合は、スキップされます。
- タグ情報の表示はできますが、情報の加工はできません。
- 転送時に再エンコードなどの処理は行ってはいないので、音質が劣化することはありません。
- 転送できる音楽ファイル数は最大500曲までで、フォルダ数は50まで作成できます。
- 転送した音楽ファイルを聴くには、プレーヤーの機能を［**ミュージック**］モードに切り換えてください。

  ✍「**音楽ファイルを再生する**」 → 30
- 転送する音楽ファイル名に、日本語や英数字以外の記号を使うとプレーヤーに転送することができない場合があります。

製品に関する一般的なご質問を弊社 FAQ Webページにて、情報を提供しています。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。
＜http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html＞

基本編

次ページに続く

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込むことをリッピングといいます。

音楽 CD からMP3またはWMA形式の音楽ファイルを作成するには、最初に音楽 CD の音楽トラックをパソコンに取り込む必要があります。取り込みには、CD-ROM ドライブとリッピングが可能なソフトウェアが必要です。
音楽ファイルの取り込みが完了したら、次にデータのエンコーディングを行います。通常、音楽 CD から取り込まれた音楽ファイルは WAV 形式で、これを MP3 または WMA 形式に変換します。MP3 および WMA は不可逆圧縮方式であり、可聴域を超える一部のデータが削除されてからエンコーディングが行われます。標準のサンプリングレートとビットレートを使用すれば、ほとんど音質を損なうことなく MP3やWMA 形式の音楽ファイルが作成されます。ビットレートを高く設定すると音質は向上しますが、作成される音楽ファイルのサイズが大きくなります。
リッピングおよびエンコードの詳細については、お手持ちのリッピングおよびエンコーディングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

Windows Media Playerを使ったリッピング方法につては弊社 FAQ Webページにて、情報を提供しています。

＜http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html＞

著作権を守りましょう：

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽 CD などを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。

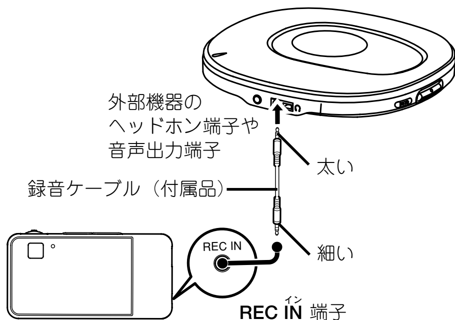
ダイレクトエンコーディング

CD や MD に収録された音楽トラックを、ステレオなどの外部機器から直接音楽ファイルに変換し録音することができます。この機能を使用すると、パソコンを使用せずに音楽 CD などからプレーヤーに録音することができます。

ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオと接続して録音することもできます。

✍「**ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続**」 →54

1 プレーヤーのREC IN(イン)端子に、録音ケーブル(付属品)で外部機器を接続します。



外部機器と接続するときは、プレーヤーや外部機器の電源をオフにしてからケーブル類の接続を行ったあとに、各機器の電源をオンにしてください。

2 接続した外部機器の電源をオンにします。

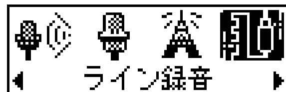
- CD や MD を［**シンクロ録音**］機能を使って録音するときは、音楽トラックのはじめで、外部機器を再生一時停止にします。

3 プレーヤーの電源をオンにします。

4 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

5 ［ライン録音］アイコンをスクロールセレクトします。

［**ライン録音**］画面を表示します。



6 録音の準備をします。

- お好みの［**ビットレート**］を設定し、［**シンクロ録音**］機能を使うときは［**オン**］に設定します。

✍「**［ビットレート］の設定**」 →29

✍「**［シンクロ録音］の設定**」 →29

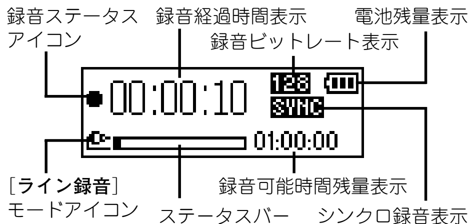
基本編

次ページに続く

7 ►/II ボタンを押して、録音を開始します。

- ［**シンクロ録音**］機能が［**オン**］のときは、外部機器の再生をはじめると、自動的に録音を開始します。
- 録音中は一時停止できません。

［ライン録音］モード画面：



8 もう一度 ►/II ボタンを押して、録音を停止します。

- ［**シンクロ録音**］機能が［**オン**］のときは、外部機器の再生を止めると、自動的に録音を停止します。

録音中に電池が切れた場合、その音楽ファイルは保存されますが、データが正常に記録されていないため、プレーヤー上では表示できません。そのためパソコン上で削除する必要があります。録音するときは電池残量にご注意ください。

POINT:

- ［**ライン録音**］モードで録音した音楽ファイルは、［**Encoded Tracks**（エンコーデッド トラックス）］フォルダに保存されます。
- 録音した音楽ファイルの名前は次のような形式になります:［**EN <ファイル番号> .KXM**］
- 録音する前に試し録りをして、録音レベルの確認をすることをおすすめします。

  録音ファイルの音が歪んでいる場合：
  外部機器の音量を下げてください。
  録音ファイルの音が小さすぎる場合：
  外部機器の音量を上げてください。

次ページに続く

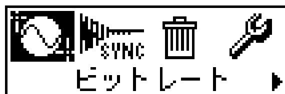
■［ビットレート］の設定

お好みに合わせて、音楽ファイルのビットレートを設定することができます。

1 [ライン録音] モード画面でスクローラを押します。

2 [ビットレート] アイコンをスクロールセレクトします。

［ビットレート］設定画面を表示します



3 お好みのビットレートをスクロールセレクトします。



POINT:

- ビットレートを高くすると音質は良くなりますが、その分音楽ファイルのデータ量も大きくなりますのでご注意ください。

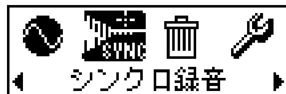
■［シンクロ録音］の設定

外部機器の音楽トラックの再生や停止に合わせて、録音を自動的に開始／停止することができます。

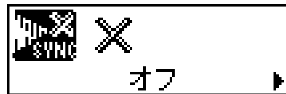
1 [ライン録音] モード画面でスクローラを押します。

2 [シンクロ録音] アイコンをスクロールセレクトします。

［シンクロ録音］設定画面を表示します



3 ［シンクロ録音］の［オン］または［オフ］をスクロールセレクトします。



POINT:

- 音のない部分が2秒以上続いたあと次の音が入ってくると、<**ファイル番号**>を自動的に１繰り上げます。クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、<**ファイル番号**>が繰り上がる場合があります。また、ライブ盤などで曲間のとぎれが短い場合は、前後のトラックがつながって１つのファイルとして録音されます。
- 録音するソースにより、音楽トラックの先頭がわずかに切れる場合があります。

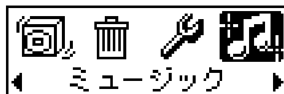
音楽ファイルを再生する

プレーヤーで録音した音楽ファイルや、Kenwood Media Explorer でパソコンから転送した音楽ファイルを再生します。

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 [ミュージック] アイコンをスクロールセレクトします。

［ミュージック］モード画面を表示します

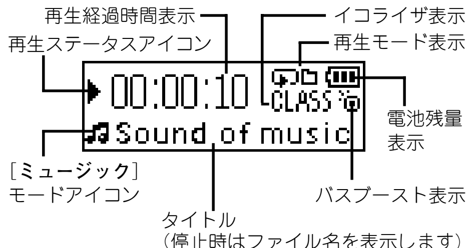


3 再生する音楽ファイルをスクローラで選択して、再生を開始します。

- 再生がはじまらないときは、►/II ボタンを押します。
- プレーヤーで録音した音楽ファイルを再生するときは、［**Encoded Tracks**］フォルダを選びます。

✍「**フォルダのスキップ**」 → 32

［ミュージック］モード画面（通常の再生モードのとき）：



POINT:

- 再生時にはオリジナルファイルのタグ情報内のタイトル部を表示し、停止時にはファイル名を表示します。
- プレーヤーで録音した音楽ファイルやタグ情報がない音楽ファイルのときは、再生時／停止時ともファイル名のみを表示します。
- プレーヤーに音楽ファイルが保存されていないときは［**ファイルなし**］というメッセージが表示されます。

次ページに続く

各種操作

一時停止する：

1 再生中に ►/II ボタンを押します。

もう一度 ►/II ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

前後の音楽ファイルにスキップする：

1 スクローラを◄（左）または►（右）に回転させ、スクローラを離します。

◄（左）に回転：

再生開始後5秒以内に回転させると直前の音楽ファイルまたは録音ファイルの先頭に移動します。
5秒以上経過後に回転させた時は再生中の音楽ファイルまたは録音ファイルの先頭に移動します。

►（右）に回転：

直後の音楽ファイルまたは録音ファイルの先頭へスキップします。

早送り／早戻しする：

1 再生中にスクローラを◄（左）または►（右）回転させ、回転した方向に押し続けます。

◄（左）に回転：

再生中の音楽ファイルまたは録音ファイルを早戻しします。

►（右）に回転：

再生中の音楽ファイルまたは録音ファイルを早送りします。

- スクローラを離すと通常の再生に戻ります。
- ファイルをまたがって、早送り／早戻しすることはできません。

停止する：

1 再生中に ►/II ボタンを押します。

2 スクローラを左右のどちらかに回転させます。

［**停止**］アイコン ■ が液晶画面に表示されます。

次ページに続く

フォルダのスキップ

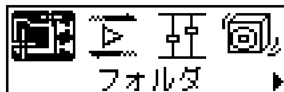
音楽ファイルがいくつかのフォルダにグループ分けされていて、特定のフォルダをすぐに再生する場合に、この機能を使用します。そのフォルダの音楽ファイルの再生が終わると、次のフォルダの音楽ファイルが再生されます。

基本編

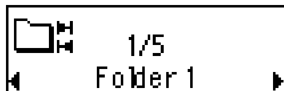
1 **スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。**

2 **［フォルダ］アイコンをスクロールセレクトします。**

［**フォルダ**］選択画面を表示します



3 **再生するフォルダをスクロールセレクトします。**

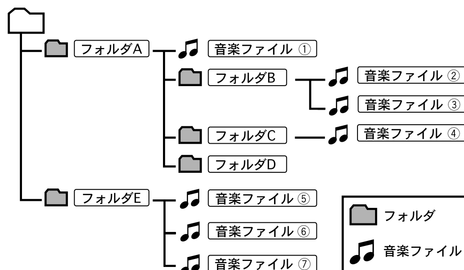


- 再生がはじまらないときは、▶/❚❚ ボタンを押します。

POINT:

- フォルダスキップは［**ミュージック**］モードでのみ選択できます。［**録音ファイル**］モードでは操作できません。
- プレーヤーで認識できるルートディレクトリのサブフォルダレベルは、２階層までです。

フォルダ階層と再生の順番：



再生するフォルダの順番：

フォルダA ➡ フォルダB ➡ フォルダC ➡ フォルダE（音楽ファイルが含まれていないフォルダDの再生は、スキップします）

- 同一階層内でのフォルダの再生順は、文字コード順になります。

再生する音楽ファイルの順番（通常の再生モードのとき）：

音楽ファイル① ➡ 音楽ファイル② ➡ 音楽ファイル③ ➡ 音楽ファイル④ ➡ 音楽ファイル⑤ ➡ 音楽ファイル⑥ ➡ 音楽ファイル⑦

- 同一階層内での音楽ファイルの再生順は、文字コード順になります。また、カスタムソート機能を使い、再生順をお好みの順番に並び換えることもできます。
  ✍「**ツールバーの操作**」 → 50

FM ラジオを聴く

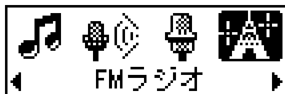
お好みの FM ラジオ番組を聴くことができます。また、受信可能な FM ラジオ局を自動的に記憶させることができます。（FM ラジオ局は最大 32 局まで記憶できます。）
FM 地域の設定をすると、海外で FM ラジオ番組を受信することができます。 ✍「**FM 受信地域の設定**」→47

FM ラジオ局を記憶させる

1 **スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。**

2 **[FMラジオ] アイコンをスクロールセレクトします。**

［**FMラジオ**］モード画面を表示します



3 **スクローラを押します。**



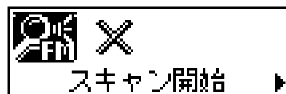
- マニュアル選局モードの場合は、▶/❚❚ボタンを押してオート選局モードに切り換えます。
- プリセットが記憶されていないときにオート選局モードにすると、「**未選択です**」と表示します。

4 **[オートスキャン] アイコンをスクロールセレクトします。**

［**スキャン開始**］画面を表示します

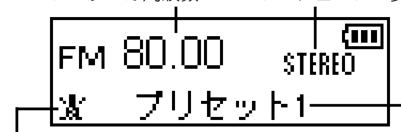


5 **[スキャン開始] アイコンをスクロールセレクトします。**



- 受信可能なFM放送局を記憶します。オートスキャンが完了すると、最初に記憶したFM放送局を受信します。
- 希望のFM放送局が記憶されないときはマニュアル選局モードで記憶させることができます。
  ✍「**FMラジオ局をマニュアル選局モードで記憶させる**」→34

［FM ラジオ］モード画面（オート選局モード）：



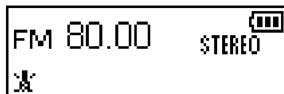
基本編

次ページに続く

FM ラジオ局をマニュアル選局モードで記憶させる：

1 **オート選局モードの場合は、[FMラジオ] モード画面で▶/II ボタンを押して、マニュアル選局モードに切り換えます。**

プリセット番号表示が消えます



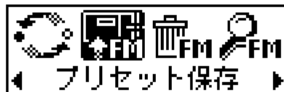
2 **スクローラを ◀（左）または ▶（右）に回転させ 、記憶させる FM ラジオ局を受信します。**

◀（左）に回転：周波数が下がります。

▶（右）に回転：周波数が上がります。

3 **スクローラを押します。**

4 **[プリセット保存] アイコン をスクロールセレクトします。**



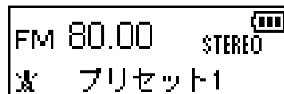
5 **保存先のプリセット番号をスクロールセレクトします。**

- 他の FM ラジオ局をプリセットに保存する場合は、手順 1 から手順 5 を繰り返し操作してください。

プリセットを削除する：

1 **マニュアル選局モードの場合は、[FM ラジオ] モード画面で▶/IIボタンを押して、オート選局モードに切り換えます。**

プリセット番号を表示します



2 **削除するプリセット番号をスクロールセレクトします。**

3 **[プリセット削除] アイコン をスクロールセレクトします。**

[プリセット削除] の確認画面を表示します



4 **[削除] アイコン をスクロールセレクトします。**



- プリセット番号が削除され、次のプリセット番号の FM ラジオ局を受信します。

基本編

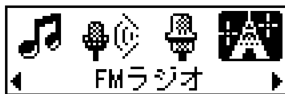
次ページに続く

記憶させた FM ラジオ局を受信する

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

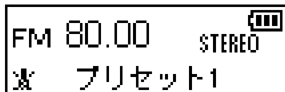
2 ［FMラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。

［**FMラジオ**］モード画面を表示します



3 受信するプリセット番号をスクローラで選択します。

- プリセット番号が画面に表示されていない場合は、►/II ボタンを押してオート選局モードに切り換えます。



POINT:

- プリセットが記憶されていないときは、「**プリセットなし**」と表示します。

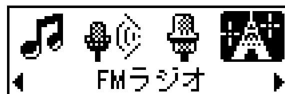
選局モードを切り換える

オート選局モードでは、登録されているプリセットが表示され、スクローラを使ってプリセットされたラジオ局を選択できます。
ラジオの周波数を微調整する場合は、マニュアル選局モードに切り換えます。

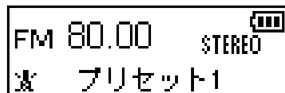
1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［FMラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。

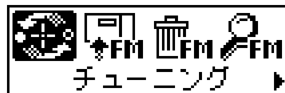
［**FMラジオ**］モード画面を表示します



3 スクローラを押します。



4 ［スクローラモード］アイコンをスクロールセレクトして、オート選局モード（[プリセット]）とマニュアル選局モード（[チューニング]）を切り換えます。



POINT:

- ［**FM ラジオ**］モード画面で ►/II ボタンを押して選局モードを切り換えることもできます。

基本編

FM ラジオ録音

受信中のFMラジオ番組を録音することができます。（FMラジオの録音にはIMA ADPCM形式（4bit、16kHz、ステレオ）が使用されます。）

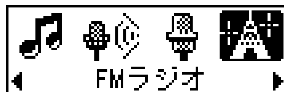
録音可能な時間は、次の要素により決まります。✍「定格」→55

- プレーヤーのメモリー残量
- プレーヤーのバッテリー残量

1 **スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。**

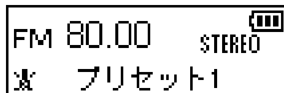
2 **［FMラジオ］アイコンをスクロールセレクトします。**

［**FMラジオ**］モード画面を表示します



3 **録音するラジオ番組のプリセット番号をスクロールセレクトします。**

- プリセット番号が画面に表示されていない場合は、▶/❚❚ボタンを押してオート選局モードに切り換えます。



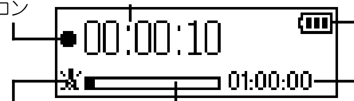
4 **［FMラジオ録音］アイコンをスクロールセレクトして、録音を開始します。**

- 録音を一時停止することはできません。

［**FMラジオ録音**］モード画面を表示します



［FMラジオ録音］モード画面：



5 **▶/❚❚ボタンを押して、録音を停止します。**

> **録音中に電池が切れた場合、その録音ファイルは保存されますが、データが正常に記録されていないため、プレーヤー上では表示できません。そのためパソコン上で削除する必要があります。録音するときは電池残量にご注意ください。**

POINT:

- ［**FMラジオ録音**］モードで録音した録音ファイルは、［**Recorded Tracks**］（レコーデッド トラックス）フォルダに保存されます。
- 録音ファイルの名前は次のような形式になります：［**FM＜ファイル番号＞.KXM**］

基本編

次ページに続く

FM ラジオ録音した録音ファイルを再生する

［FMラジオ録音］モードで録音した録音ファイルの再生は、［録音ファイル］モードで再生します。

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 ［録音ファイル］アイコンをスクロールセレクトします。

［録音ファイル］モード画面を表示します

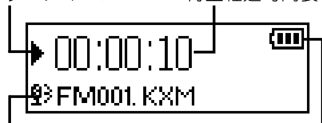


3 再生する録音ファイルをスクローラで選択して､再生を開始します。

● 再生がはじまらないときは、▶/❚❚ ボタンを押します。

［録音ファイル］モード画面（通常の再生モードのとき）：

再生ステータスアイコン　再生経過時間表示



［録音ファイル］モードアイコン　電池残量表示

POINT:

● 再生時の各種操作については、「**各種操作**」を参照ください。 →31

マイク録音

内蔵マイクロホンを使ってボイス録音をすることができます。（ボイス録音には、IMA ADPCM 形式（4bit、8kHz、モノラル）が使用されます。）

録音可能な時間は､次の要素により決まります。✍「定格」→55

● プレーヤーのメモリー残量
● プレーヤーのバッテリー残量

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 ［マイク録音］アイコンをスクロールセレクトします。

［マイク録音］モード画面を表示します



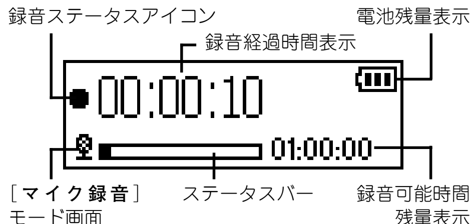
3 ▶/❚❚ ボタンを押して、録音を開始します。

● 録音を一時停止することはできません。

基本編

次ページに続く

［マイク録音］モード画面



4 もう一度►/❚❚ボタンを押して、録音を停止します。

> 録音中に電池が切れた場合、その録音ファイルは保存されますが、データが正常に記録されていないため、プレーヤー上では表示できません。そのためパソコン上で削除する必要があります。録音するときは電池残量にご注意ください。

POINT:

- ［**マイク録音**］モードで録音した録音ファイルは、［**Recorded Tracks**］（レコーデッド トラックス）フォルダに保存されます。
- 録音ファイルの名前は次のような形式になります：
  ［**VOC ＜ファイル番号＞ .KXM**］

マイク録音した録音ファイルを再生する

［**マイク録音**］モードで録音した録音ファイルの再生は、［**録音ファイル**］モードで再生します。

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 ［録音ファイル］アイコンをスクロールセレクトします。

［**録音ファイル**］モード画面を表示します



3 再生する録音ファイルをスクロールラで選択して、再生を開始します。

- 再生がはじまらないときは、►/❚❚ボタンを押します。

［**録音ファイル**］モード画面（通常の再生モードのとき）：



POINT:

- 再生時の各種操作については､「**各種操作**」を参照ください。 →31

外部機器との接続

ヘッドホン端子を使うと、アンプ内蔵のスピーカーなどの外部機器と接続することができます。

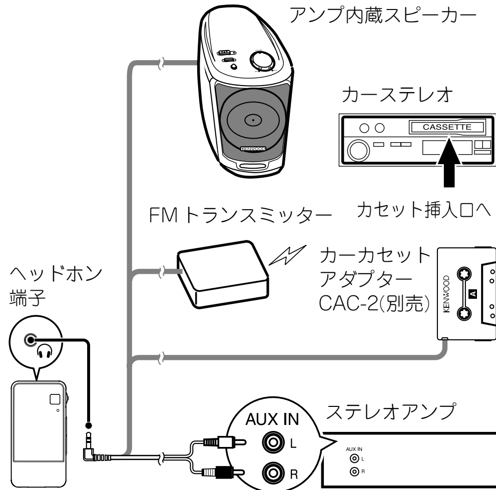
1 プレーヤーの ヘッドホン端子に、ステレオミニプラグ付きケーブル類（市販品）で外部機器を接続します。

- ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオと接続し、プレーヤーをステレオのボタン操作でコントロールすることができます。

  ✍「**ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続**」 → 53 → 54

- 各機器の接続は、プレーヤーや接続する外部機器の電源をオフにして、ケーブル類の接続を行ってください。また、各機器の電源をオンにする前に確実にケーブル類が接続されてることをご確認ください。

2 再生を開始します。



ご注意：

- 温度が高くなった自動車内での使用および機器の車内放置はおやめください。故障の原因になります。

基本編

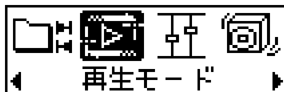
再生モードの切り換え

プレーヤーの再生モードを切り換えて、音楽ファイルや録音ファイルの再生方法を変更することができます。再生モードの切り換えは、［ミュージック］モードまたは［録音ファイル］モードにおいてのみ選択できます。

1 **スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。**

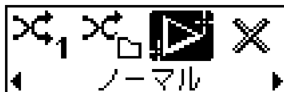
2 **［再生モード］アイコンをスクロールセレクトします。**

［**再生モード**］選択画面を表示します



3 **お好みの再生モードをスクロールセレクトします。**

- 同時に複数の再生モードを有効にすることはできません。



リピート再生：

［1 曲リピート］アイコン：

再生を止めるか別のフォルダに移動するまで､音楽ファイルまたは録音ファイルが繰り返し再生されます。

- を画面に表示します。

［リピート］アイコン：

再生を止めるまで全ての音楽ファイルまたは録音ファイルが繰り返し再生されます。

- を画面に表示します。

［フォルダリピート］アイコン：

再生を止めるか別のフォルダに移動するまで､指定されたフォルダ内の音楽ファイルが繰り返し再生されます。（［**フォルダリピート**］アイコンは［**ミュージック**］モードでのみ選択可能です）

- を画面に表示します。

次ページに続く

ランダム再生：

[ランダムリピート］アイコン：
再生を止めるまで音楽ファイルまたは録音ファイルがランダムな順序で継続的に再生されます。

- を画面に表示します。

[ランダム］アイコン：
音楽ファイルまたは録音ファイルがランダムな順序で再生されます。全てのファイルが 1 回ずつ再生されると、再生が終了します。

- 1を画面に表示します。

[フォルダランダム］アイコン：
フォルダ内の全ての音楽ファイルがランダムな順序で再生されます。フォルダ内の全てのファイルが 1 回ずつ再生されると、再生が終了します。（[**フォルダランダム**］アイコンは［**ミュージック**］モードでのみ選択可能です）

- を画面に表示します。

音楽ファイルまたは録音ファイルを一回だけ再生する：

[シングル］アイコン：
音楽ファイルまたは録音ファイルの再生が終了すると停止します。

- 1を画面に表示します。

全ての音楽ファイルまたは録音ファイルを再生する：

[ノーマル］アイコン：
全ての音楽ファイルまたは録音ファイルが再生リストに表示された順序で 1 回再生されます。

次ページに続く

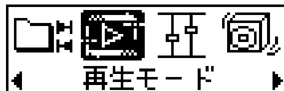
■ AB リピート再生

音楽ファイルや録音ファイル内のお好みの区間を指定し、繰り返し再生します。

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2［再生モード］アイコンをスクロールセレクトします。

［**再生モード**］選択画面を表示します



3［AB リピート］アイコンをスクロールセレクトします。



4 スクローラを押して、繰り返して再生する部分の先頭にマーカを設定します。

- A↔□を画面に表示します。

5 スクローラをもう一度押して、繰り返して再生する部分の最後にマーカを設定します。

- A↔B を画面に表示します。
- マーカを設定した区間を繰り返して再生します。

POINT:

- 他のファイルにまたがって､ABリピート再生をすることはできません。
- 通常の再生モードに戻るには｢**再生モードの切り換え**｣の手順 1 から手順 3 までを操作して［**ノーマル**］アイコンを選びます。→40

応用編

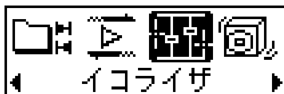
イコライザの設定

プレーヤーが［ミュージック］モードのときは、お好みに合わせてイコライザの設定をし、音響効果を楽しむことができます。

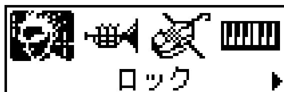
1 **スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。**

2 **［イコライザ］アイコンをスクロールセレクトします。**

［**イコライザ**］設定画面を表示します



3 **［ロック］、［ジャズ］、［クラシック］または［ポップス］アイコンのいずれかをスクロールセレクトします。**

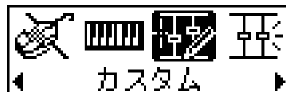


- カスタムイコライザの設定をするときは、「**カスタムイコライザを設定する**」の手順を操作します。
- イコライザの設定を解除するときは［**ノーマル**］を選択します。

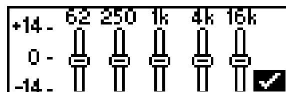
カスタムイコライザを設定する：

1 **「イコライザの設定」の手順3で［カスタム］アイコンをスクロールセレクトします。**

［**カスタム**］設定画面を表示します



2 **5つの縦方向のコントロールレバーが画面に表示されます。**



それぞれのレバーには、コントロール可能な周波数の範囲が分割されています。62 Hz レバーは低域の周波数、250 Hz レバーは 中低域の周波数、1 kHz レバーは中域の周波数、4 kHz レバーは中高域の周波数、16 kHz レバーは高域の周波数をそれぞれコントロールします。

3 **コントロールレバーをスクロールセレクトします。スクローラを使ってレバーのつまみを上下に動かし、選択した周波数域を増幅または減衰します。**

4 **チェックマークをスクロールセレクトし、［カスタム］画面を終了します。**

応用編

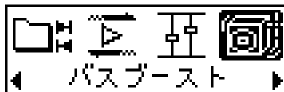
バスブーストの設定

低音を強調して再生することができます。

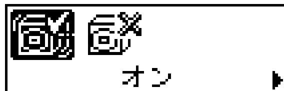
1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［バスブースト］アイコンをスクロールセレクトします。

［**バスブースト**］設定画面を表示します



3 ［オン］または［オフ］をスクロールセレクトします。



［**オン**］を選択すると、を画面に表示します。

POINT:

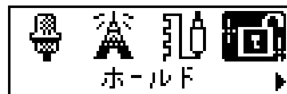
- ［**バスブースト**］は［**ミュージック**］モードでのみ選択できます。

ホールド機能

ホールド機能をオンにすると、プレーヤーの全てのボタンが使用できなくなります。この機能を使うと、►/II などのボタンを誤って押してしまうことがありません。

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［ホールド］アイコン をスクロールセレクトします。



POINT:

- ホールド機能がオンのときにシャットダウン機能によりプレーヤーの電源がオフになると、自動的にホールド機能は解除されます。
  ✍「**シャットダウン機能の設定**」 →47

ホールド機能を解除するときは：

1 いずれかのボタンを押します。

2 ［ホールド解除］アイコンをスクロールセレクトします。



応用編

音楽ファイルを削除する

音楽ファイルや録音ファイルを削除すると、永久にプレーヤーから削除されます。

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

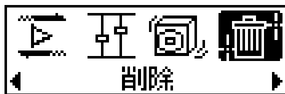
2 [ミュージック]アイコン または [録音ファイル]アイコン をスクロールセレクトします。

3 削除する音楽ファイルまたは 録音ファイルをスクローラで選択します。

4 スクローラを押します。

5 [削除] アイコンをスクロールセレクトします。

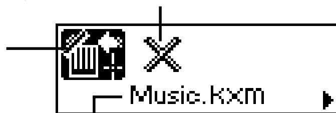
[**削除**]の確認画面を表示します



6 [削除] アイコンをスクロールセレクトします。

削除をキャンセルするときに選びます

削除するときに選びます



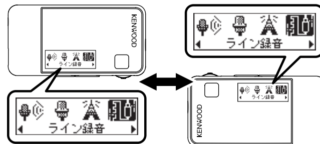
削除するファイル

ユーザー設定

液晶画面の表示方向やコントラストの設定などいろいろな設定を行うことができます。

液晶画面の表示方向設定：

右利きまたは左利き用に、液晶画面を反転表示することができます。

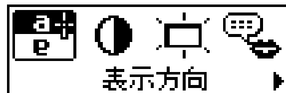


1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 [設定] アイコンをスクロールセレクトします。

設定

3 [表示方向] アイコン をスクロールセレクトして、表示方向を切り換えます。



応用編

次ページに続く

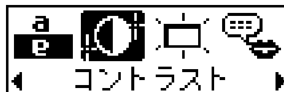
コントラストの設定：

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

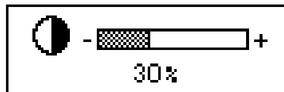
2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［コントラスト］アイコンをスクロールセレクトします。

［**コントラスト**］設定画面を表示します



4 液晶画面のコントラストをスクロールセレクトします。



- 数値を小さくするほど､液晶画面のコントラストが低くなります。

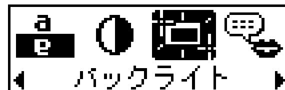
バックライト点灯時間の設定：

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［バックライト］アイコン をスクロールセレクトします。

［**バックライト**］設定画面を表示します



4 バックライト点灯時間をスクロールセレクトするか、バックライトを無効にします。

- 数値を小さく設定するほど電池の消耗が減り､再生時間が長くなります。

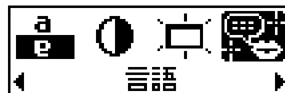
液晶画面の言語設定：

1 スクローラを押して､メインメニュー画面を表示させます。

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［言語］アイコンをスクロールセレクトします。

［**言語**］設定画面を表示します



4 使用する言語をスクロールセレクトします。

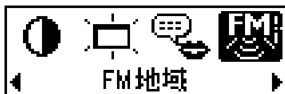
次ページに続く

FM 受信地域の設定：

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［FM 地域］アイコンをスクロールセレクトします。



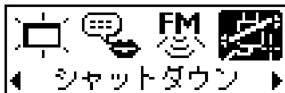
4 ご使用の地域をスクロールセレクトします。

シャットダウン機能の設定：

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［シャットダウン］アイコンをスクロールセレクトします。



4 プレーヤーの電源が自動的に切れるまでの待機時間をスクロールセレクトします。

情報画面にアクセスする：

プレーヤーのファームウェアのバージョン、メモリーの総容量と空き容量、および保存されている音楽ファイル数を表示することができます。

1 スクローラを押して、メインメニュー画面を表示させます。

2 ［設定］アイコンをスクロールセレクトします。

3 ［情報］アイコン をスクロールセレクトします。



4 表示する情報をスクローラで選択します。

プレーヤーのフォーマット

内蔵メモリに対して、繰り返し書き込みや削除などを行なうと、ファイル操作の速度などが次第に低下していくことがあります。このようなときは、Windows エクスプローラを使用してプレーヤーのメモリーをクリアすると、音楽ファイルの転送、保存、再生が効率よく行われるようになります。

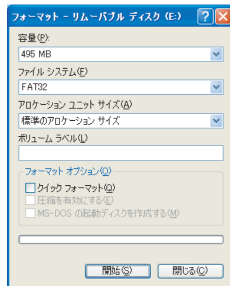
プレーヤーをフォーマットすると、音楽ファイルや録音ファイルなど全てのデータが削除されます。
大切なデータはWindowsエクスプローラを使用してパソコンにバックアップをしてください。

1 プレーヤーをパソコンに接続します。

2 Windows エクスプローラで、[リムーバブルディスク(E:)] など、プレーヤーに割り当てられたドライブを選択します（E ドライブがリムーバブルディスクの場合）。

3 ドライブのアイコンを右クリックし、[フォーマット] を選択します。

4 [開始] ボタンをクリックします。



ダイアログ ボックス

POINT:

● Windows XP および Windows 2000 をお使いの場合、プレーヤーをフォーマットする際のファイルシステムには **FAT32** を選択してください。

Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)の操作

Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)はインストール CD に含まれています。ご使用の前に「Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)のインストール」を参照のうえソフトウェアをインストールしてください。 →16
パソコンの音楽ファイルをプレーヤーに転送する操作方法については、「音楽ファイルの転送」を参照してください。 →22

操作方法は、［ヘルプ（H）］でもご覧になることができます。

録音した音楽ファイルや録音ファイルをパソコンに保存する

［**ライン録音**］、［**マイク録音**］または［**FMラジオ録音**］モードで録音した音楽ファイルや録音ファイルをパソコンに保存し、パソコン上で再生することができます。

1 **プレーヤーの USB 端子に、USB ケーブル（付属品）でパソコンと接続します。**

Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)が自動的に起動します。

- 自動で起動しないときは、［**スタート**］➡［**マイ コンピュータ**］➡［**Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)**］をクリックします。（デスクトップにショートカットアイコンを作成した場合は、［**Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)**］アイコンをクリックしても操作できます。）

2 **［Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)］フォルダ内の［M_B5］フォルダをクリックします。**

3 **［ライン録音］モードで録音した音楽ファイルを転送するときは、［Encoded(エンコーデッド) Tracks(トラックス)］フォルダをクリックして、保存する音楽ファイルをパソコンの任意のフォルダにドラッグ＆ドロップします。（［マイク録音］または［FMラジオ録音］モードで録音した録音ファイルを転送するときは、［Recorded(レコーデッド) Tracks(トラックス)］フォルダをクリックします）**

- プレーヤーの［**Encoded(エンコーデッド) Tracks(トラックス)**］フォルダから音楽ファイルを転送すると、パソコンで再生可能な MP3 形式に変換しパソコンに保存されます。
（［**Recorded(レコーデッド) Tracks(トラックス)**］フォルダから転送した録音ファイルは WAV 形式に変換されます）

POINT:
- リムーバブルメディアとして認識されている本機（［**リムーバブルディスク（E:）など**］）から**Kenwood Media(メディア) Explorer(エクスプローラ)**を使用せずに、ドラッグ＆ドロップした音楽ファイルは、変換されずにKXM形式のままコピーされ、パソコン上では再生できません。

応用編

次ページに続く

転送した音楽ファイルを編集する

1 プレーヤーの USB 端子に、USB ケーブル（付属品）でパソコンと接続します。

Kenwood Media（メディア） Explorer（エクスプローラ） が自動的に起動します。

- 自動で起動しないときは、［**スタート**］➡［**マイ コンピュータ**］➡［**Kenwood Media（メディア） Explorer（エクスプローラ）**］をクリックします。（デスクトップにショートカットアイコンを作成した場合は、［**Kenwood Media（メディア） Explorer（エクスプローラ）**］アイコンをクリックしても操作できます。）

2 ［Kenwood Media（メディア） Explorer（エクスプローラ）］フォルダ内の［M_B5］フォルダをクリックします。

プレーヤーに転送した音楽ファイルが表示されます。

3 音楽ファイルを選んでマウスを右クリックし、編集する項目を選びます。

- ［**名前の変更（R）**］：音楽ファイル名を変更します。
- ［**コピー（C）**］：音楽ファイルをコピーします。
- ［**切り取り（T）**］：音楽ファイルを切り取ります。
- ［**削除（D）**］：音楽ファイルを削除します。
- ［**トラック番号でソートする**］：音楽ファイル番号の順番にソートします。
- ［**ファイル名を元に戻す**］：音楽ファイル名を元に戻します。
- ［**KXMに変換**］：音楽ファイルをKXM形式に変換します。
- ［**プロパティ**］：プロパティを表示します。

ツールバーの操作

［**Kenwood Media（メディア） Explorer（エクスプローラ）**］フォルダ内の［**M_B5**］フォルダを開いているときに表示されるツールバーで各操作ができます。

カスタムソート：

1 ［カスタムソート］ボタン をクリックします。

2 カスタムソート画面を操作して、音楽ファイルをお好みの順番に並び替えることができます。

3 ［保存］をクリックして、カスタムソート画面を閉じます。

ファイル名の先頭に３桁の連番が付加されます。

セッティング：

1 ［セッティング］ボタン をクリックします。

2 セッティング画面を操作して、各項目のチェックをつけることにより、それぞれを有効にすることができます。

3 ［適用］をクリックすると、設定内容が適用されます。［OK］をクリックしてセッティング画面を閉じます。

次ページに続く

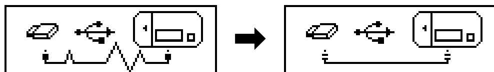
フォーマット：

1 ［フォーマット］ボタン をクリックすると、Windows のフォーマットダイアログボックスを起動させることができます。

✍「プレーヤーのフォーマット」 →48

プレーヤーをパソコンから取り外す

液晶画面に転送終了のアイコンが表示されていることをご確認のうえ、以下の手順でプレーヤーをパソコンから取り外してください。



ファイルを転送中
（取り外さないでください）

転送終了

1 ［エクスプローラ］を終了します。

2 タスクバーの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン をクリックし、［USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します］をクリックします。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します
10:51

3 安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーを取り外します。

Kenwood Media Explorer のアンインストール

ソフトウェアが不要になった場合は、プログラムを削除します。ソフトウェアを使用しているときは、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。

> ソフトウェアをアンインストールをするには、Windows XP および 2000 では Administrator または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1 ［スタート］➡［プログラム］➡［Kenwood］➡［Kenwood Media Explorer］➡［Kenwood Media Explorer のアンインストール］をクリックします。

2 以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを実行します。

POINT:

- Kenwood Media Explorerを再インストールするときは、必ず一度アンインストールしてからインストールを実行してください。

アップデートについて

プレーヤーのファームウェアおよび Kenwood Media Explorer はアップデートが可能です。

> アップデートについては、ケンウッド Web ページ（http://www.kenwood.com/jhome.html）内の「製品情報」あるいは「FAQ およびバージョンアップ情報」にてご案内しております。

応用編

ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続

■ ステレオと接続して再生する

プレーヤーをステレオのボタン操作でコントロールすることができます。（音声信号はアナログになります。）

1 **プレーヤーのヘッドホン端子に、デジタルプレーヤー・リンクケーブル（別売品）でデジタルオーディオリンク対応ステレオと接続します。**

外部機器と接続するときは、プレーヤーや外部機器の電源をオフにしてからケーブル類の接続を行ったあとに、各機器の電源をオンにしてください。

2 **プレーヤーの電源をオンにします。**

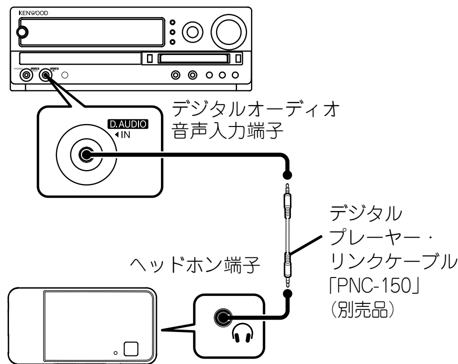
3 **接続したステレオのインプットセレクターをデジタルオーディオにします。**

- 接続したステレオの本体キー、およびリモコン操作で「再生/一時停止」「スキップアップ・ダウン」や「フォルダスキップ」などが操作できます。

ご使用の際は、デジタルオーディオリンク対応ステレオの取扱説明書も合わせてご覧ください。

デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続：

デジタルオーディオリンク対応ステレオ
対応機種：
AX-D7、R-K801、ES-A5MD、SV-3MD、MDX-L1
（2005 年 11 月現在）



応用編

次ページに続く

■ ステレオと接続して録音する

システムコンポのソース（音源）を音楽ファイルに変換し録音することができます。

1 プレーヤーの REC IN（イン）端子に、録音ケーブル（AX-D7 の付属品）でデジタルオーディオリンク対応ステレオと接続します。

> **外部機器と接続するときは、プレーヤーや外部機器の電源をオフにしてからケーブル類の接続を行ったあとに、各機器の電源をオンにしてください。**

- ビットレートを変更するときは、設定変更後に一旦プレーヤーの電源をオフにしてください。
  ✍「[ビットレート] の設定」 →29

2 プレーヤーの電源をオンにします。

3 録音ソースをステレオのインプットセレクターで選びます。

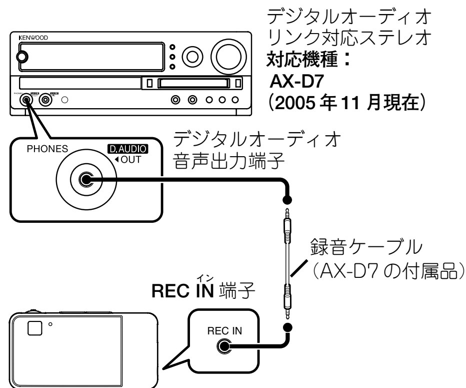
4 ステレオで録音の操作手順を行い、録音を開始します。

5 ステレオの停止ボタンを押して、録音を停止します。

ご使用の際は、デジタルオーディオリンク対応ステレオの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 自動的に［**シンクロ録音**］がオンに設定されます。
  ✍「[シンクロ録音] の設定」 →29

デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続：



応用編

定格

本体寸法（幅×高さ×奥行）
34.5 mm × 67.0 mm × 15.3 mm
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
36.0 mm × 67.0 mm × 15.3 mm
重量 約 27 g（電池非装着時）
約 39 g（電池装着時）
内蔵フラッシュメモリー **M1GB5**：1 GB
M512B5：512 MB
電池の種類 単 4 形アルカリ乾電池
電池持続時間 ＊（単 4 形アルカリ乾電池使用時）

連続再生時間

MP3（128 kbps）	約 15 時間
WMA（64 kbps）	約 11 時間

連続 FM 放送受信時間

FM ラジオ	約 17 時間

最大録音時間（他のファイルがないとき）

M1GB5

ライン録音（128 kbps）	約 17 時間
ライン録音（96 kbps）	約 23 時間
マイク録音	約 64 時間
FM ラジオ録音	約 16 時間

M512B5

ライン録音（128 kbps）	約 8.5 時間
ライン録音（96 kbps）	約 11.5 時間
マイク録音	約 32 時間
FM ラジオ録音	約 8 時間

＊ 次の要因で再生時間が短くなる場合があります。
- パッシブスピーカーを使用する
- バックライトの点灯時間を 10 秒以上に設定する
- ビットレートの高い音楽ファイルを再生する

インターフェース USB 2.0 （USB 1.1 互換）
再生フォーマット **MP3（可変ビットレート対応）：**
32 ～ 320 kbps
8、11.025、12、16、22.05、
24、32、44.1、48 kHz
WMA（DRM 対応）：
64 ～ 192 kbps
16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
FM 受信部 ステレオ / モノラル
プリセット数 32
地域選択　　可能
録音形式 **ライン録音（REC IN（イン）端子経由）：MP3**
（44.1 kHz、96/128 kbps、ステレオ）
マイク録音（内蔵マイクロホン経由）：
IMA ADPCM
（8 kHz、4-bit、モノラル）
FM ラジオ録音：IMA ADPCM
（16 kHz、4-bit、ステレオ）

次ページに続く

最大ファイル数	最大500（音楽ファイルと録音ファイルの総数）
周波数特性	20 Hz ～ 20000 Hz
ファームウェア **	USB 経由でアップグレード可能（ファームウェアの情報については、**www.kenwood.com/jhome.html** をご覧ください。）
ヘッドフォン出力	3.5 mm ステレオミニジャック、10.5 ＋ 10.5 mW/16Ω
ライン入力	2.5 mm ステレオミニジャック
最大入力レベル	1V rms
液晶画面	モノクロ EL バックライト付き液晶

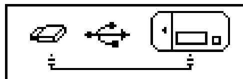
** **最新のファームウェアは、www.kenwood.com/jhome.html にて提供の予定です。**

POINT:

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

画面上の図およびアイコンについて

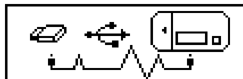
画面に表示される図



プレーヤーはパソコンに接続されています。プレーヤーを使用するには、パソコンから取り外してください。

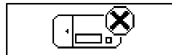
✍「**プレーヤーをパソコンから取り外す**」 → 51

✍「**使用方法**」 → 60



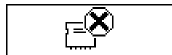
プレーヤーに音楽ファイルなどを転送中です。

次の図のいずれかが表示されている場合、該当する対処方法をとるようお勧めします



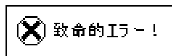
- 物理的損傷
- 何度も強い衝撃を加えた

⇨カスタマーサポートに連絡する



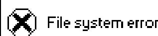
- 設定の保存中に電源が切れた

⇨最新のファームウェアをダウンロードする
⇨ファームウェアを再ロードする
⇨カスタマーサポートに連絡する



- プレーヤーで選択した操作 （ファイルの削除など）を実行できない

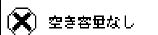
⇨プレーヤーのメモリーをクリアする
⇨カスタマーサポートに連絡する



- 音楽ファイルが破損している
- 対応していないファイルシステムでプレーヤーがフォーマットされている

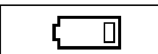
⇨録音した音楽ファイルが破損していないか確認する
⇨プレーヤーのメモリーをクリアする
⇨フォーマットするときのファイルシステムにFAT32が選択されているかどうか確認する

✍「**プレーヤーのフォーマット**」 →48



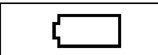
- プレーヤーのメモリーに空き容量がない

⇨不要な音楽ファイルなどを削除する



- 電池の容量が不足している

⇨新しい乾電池に交換する



- 電池の消耗によりプレーヤーを起動できない

⇨新しい乾電池に交換する

再生アイコン

▶	再生	◀◀	戻る
⏸	一時停止	▶▶	進む
⏮	前の音楽ファイルに移動	●	録音
⏭	次の音楽ファイルに移動	■	停止

再生モードアイコン

- 1曲リピート（現在再生中の音楽ファイルを繰り返し再生）
- リピート（再生リストの最後の音楽ファイルが終わると、最初から繰り返し再生）
- フォルダリピート（指定したフォルダ内の音楽ファイルを繰り返し再生）
- ランダムリピート（プレーヤーを停止するまでランダム再生）
- ランダム（再生リストの全ての音楽ファイルを1回だけランダム再生）
- フォルダランダム（指定したフォルダ内の音楽ファイルをランダム再生）
- シングル（現在再生している音楽ファイルが終わると停止）
- A↔B　ABリピート（音楽ファイル内の任意の区間を繰り返し再生）

お問い合わせのよくある質問

このセクションでは、プレーヤー使用中のよくある質問について記載しています。参照しやすいように、質問はいくつかのジャンルに分類されています。このセクションで問題が解決しない場合は、弊社の「FAQ」でも情報を提供しています。www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html にアクセスしてください。

一般

このプレーヤーについての公式情報はどこで入手できますか?

弊社製デジタルオーディオプレーヤーおよびアクセサリに関する最新情報とダウンロードについては、弊社Webページ**www.kenwood.com/jhome.html**でご提供しております。

Windows XP で、プレーヤー付属のソフトウェアが認証を受けていないと表示されます。どのような対処が必要ですか?

本製品の発売時において、Microsoft 社では、サードパーティ製のハードウェア関連ソフトウェアがMicrosoft 社の認証を受けることを強く推奨しています。ハードウェア製品のドライバが Microsoft 社に提出されていない場合、または同社の認定に合格していない場合は、警告メッセージが表示されます。なお、弊社のドライバまたはアップデートのインストール中にも、メッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、[続行] ボタンをクリックしてください。弊社では本製品のドライバまたはアップデートの Windows XP 上でのテストを実施し、お使いのパソコンに悪影響を及ぼさないことを確認しております。

知識編

次ページに続く

使用方法

最初の数ファイルを再生した後、再生されない音楽ファイルあります。

プレーヤーが再生できるのはKXM形式に変換されたMP3、WMA、プレーヤーで録音した音楽ファイルおよび録音ファイルのみです。他の形式の音楽ファイルはスキップされます。

プレーヤーに転送した音楽ファイルが正常に再生されない。

音楽ファイルの転送中に転送が中断された可能性があります。プレーヤーをパソコンから取り外す前に、安全に取り外しができる状態にしてください。

Windows XP、Me、2000 の場合：

⇨ タスクバーの［**ハードウェアの安全な取り外し**］アイコン をクリックし、［**USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します**］をクリックします。安全に取り外せる状態を示すメッセージが表示されたら、プレーヤーを取り外します。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します 10:51

プレーヤーへの音楽ファイル転送に非常に時間がかかる（100 KB/ 秒未満）

プレーヤーのメモリーをクリアしてください。
✍「**プレーヤーのフォーマット**」 → 48

プレーヤーをストレージデバイスとして使用できますか?

はい、できます。

電池を頻繁に交換しなくてはなりません。電池を長持ちさせる方法はありますか?

例えば、次のような操作によって、電池の消費が早くなります。

- バックライト消灯までの時間が長く設定されている。時間を短く設定すれば、電池を長持ちさせることができます。
- パッシブスピーカーを使用している。
- ビットレートの高い音楽ファイルを再生している。

次ページに続く

プレーヤーのマイコンを初期化するには：

設定の保存中に電源が切れたり、あるいは外部からの要因により、誤作動することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

1. **プレーヤーのUSB端子に、USB ケーブル（付属品）でパソコンと接続します。**
2. **インストールCD を CD-ROM ドライブに挿入します。**
3. **［スタート］➡［マイ コンピュータ］アイコンをクリックします。**
4. **CD-ROM/DVD-ROMドライブのアイコンをクリックし、［Updater（アップデーター）］➡［Japanese（ジャパニーズ）］➡［M_B5_ ＊ _ ＊＊ _JPN.exe］をクリックします。**
5. **画面に表示される指示に従って初期化を完了します。**

POINT:

- 初期化することにより、お客様が登録した各種の設定内容は消去されます。ただし、メモリ内のデータはそのまま残ります。メモリをクリアするときは「**プレーヤーのフォーマット**」を参照してください。 →48

ケンウッドサービス網　2005年10月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

北海道

札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎ (011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒 984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎ (022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒 020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎ (019) 646-2311

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1(加茂宮ビル1F)	☎ (048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
東京サービスステーション	〒 169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎ (03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〒 950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎ (025) 287-7736

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスステーション	〒 420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
松本サービスステーション	〒 390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎ (0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87(第2濱伍ビル1F)	☎ (076) 265-5045

次ページに続く

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒 901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎ (098) 874-9010

パソコンとの接続および添付ソフトウェアについてのお問い合わせ、修理のご相談は、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター 〒 226-8525 横浜市緑区白山1-16-2 FAX (045) 933-5553
☎ (0570) 010-114（ナビダイヤル） 携帯電話・PHSでのご利用は ☎ (045) 933-5133

- **ケンウッドサービス窓口 営業時間のご案内：**
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- **カスタマーサポートセンター 営業時間のご案内：**
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

製品に関する一般的なご質問を弊社 FAQ Webページにて、情報を提供しています。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。 ＜http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html＞

使用環境について

お問い合わせの際は、あらかじめ下記の項目をご用意して頂くようお願いいたします。また、お問い合わせの前にぜひ一度、弊社 FAQ Web ページをご覧下さい。 ＜ http://www.kenwood.com/j/download/m256_512/index.html ＞

■ 製品に関して:

製品ご購入日
製品名および製品型番
シリアル番号
ファームウェアバージョン

■ パソコン環境に関して:

OSとサービスパックのバージョン
パソコンのメーカー名
パソコンの機種名
自作時は、CPU／メモリ／マザーボード／BIOSバージョン
※ WMAファイルの場合、著作権保護(DRM)の有無
※ 可変ビットレート(VBR)の場合は、設定した可変の幅

■ 不具合症状に関して:

症状の詳細(何が、どのような時に、どんな症状が発生したか)
症状の頻度
1. 一度だけ発生、その後は起きていない
2. 再起動すれば発生しない
3. 再起動しても発生する
4. その他

症状発生した直前の操作内容
症状発生時のパソコンおよびプレーヤー画面の状態（パソコン及びプレーヤー表示）
エラーメッセージの有無とメッセージ内容
トラブルを解決しようとして行った操作内容

■ 録音（リッピング）に関して:

録音(リッピング)ソフト名とバージョン
不具合発生のファイルについて:

- アーティスト名、アルバム名、タイトル名
- 録音(リッピング)方式、及びビットレート
  WAV ・ MP3（ _____ kbps、VBR)・
  WMA（ _____ kbps、VBR)

POINT:

- 修理をご依頼のときは、メモリーの内容（音楽ファイルなど）の保証はいたしません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1. 保証について

- **保証書ー**製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「**お買い上げ日**」•「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間ー**お買い上げの日より1年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。
  詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッドサービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「**お問い合わせのよくある質問**」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電池や電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッドサービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障·誤動作·不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ·ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音·再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。
  修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

次ページに続く

●出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

●修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

① 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

④ 送料　：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

●修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

●This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッドサービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。

3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッドサービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

次ページに続く

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

(1)保証書のご提示のない場合。

(2)保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。

(3)使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。

(4)故障の原因が本製品以外の機器にある場合。

(5)お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。

(6)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

(7)一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷(例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等)

(8)製造番号の改変及び、取り外した製品。

(9)消耗部品(例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池等)の交換。

(10)持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッドサービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

保証書　持込修理用（日本国内専用）

品名	デジタルオーディオプレーヤー	形名	M1GB5/M512B5
保証対象	本体	保証期間	（お買上げ日より）１年間
※お買上げ日	年　月　日		
※お客様	お名前　様 ご住所 電話番号　（　）		
※販売店	店名 住所 電話番号　（　）		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッドサービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。 →62
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。